

エコアクション21

環境経営レポート



活動期間 2024年9月1日～2025年8月31日（1年間）

2025年9月29日 発行

中部工営株式会社

取組の対象組織・活動

制定日：2020年3月2日

【組織の概要】

(1) 名称 中部工営株式会社

代表者名 代表取締役社長 川畑 邦文

(2) 所在地

本社 富山県高岡市下麻生 1720-1

羽咋営業所 石川県羽咋市柳田町 73

福井営業所 福井県福井市問屋町 1-231

資材倉庫 富山県高岡市下麻生 1720-1

(3) 環境管理責任者連絡先

本社管理部 黒原 広志 TEL：0766-36-8860

(4) 事業内容

電子工業用機器及び資材の販売、メンテナンス

主要取扱商品 マウンター、検査機、ハンダ

(5) 事業の規模

資本金 2,000 万円

従業員数 17 名

(6) 事業年度 3月1日～翌年2月末日

【認証・登録の対象組織・活動】

事業者名：中部工営株式会社

対象事業所：本社

羽咋営業所

福井営業所

活動：電子工業用機器及び資材の販売、メンテナンス

【環境経営方針】

当社は、ますます深刻化する地球環境問題や資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、販売活動における最適なソリューションの提供とサービス&サポートを提供する企業として以下の方針に基づき活動します。

1. 当社は環境に関する法規制及び当社が同意するその他の要求事項並びに業界の取り決め地域との協定を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
2. 当社は企業活動において、省エネルギー、省資源、リサイクル活動に積極的に取り組みます。
3. 当社は環境経営目的及び目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的改善を行います。
上記の1～3を踏まえて次のことを重点的に取り組みます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減
 - ②廃棄物排出量の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④リサイクルの推進
 - ⑤環境関連製品の提案
4. 当社はこの環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
5. この環境経営方針は、当社で働く全従業員に周知し、全員参加で取り組みます。また協力会社へも理解と協力を要請します。

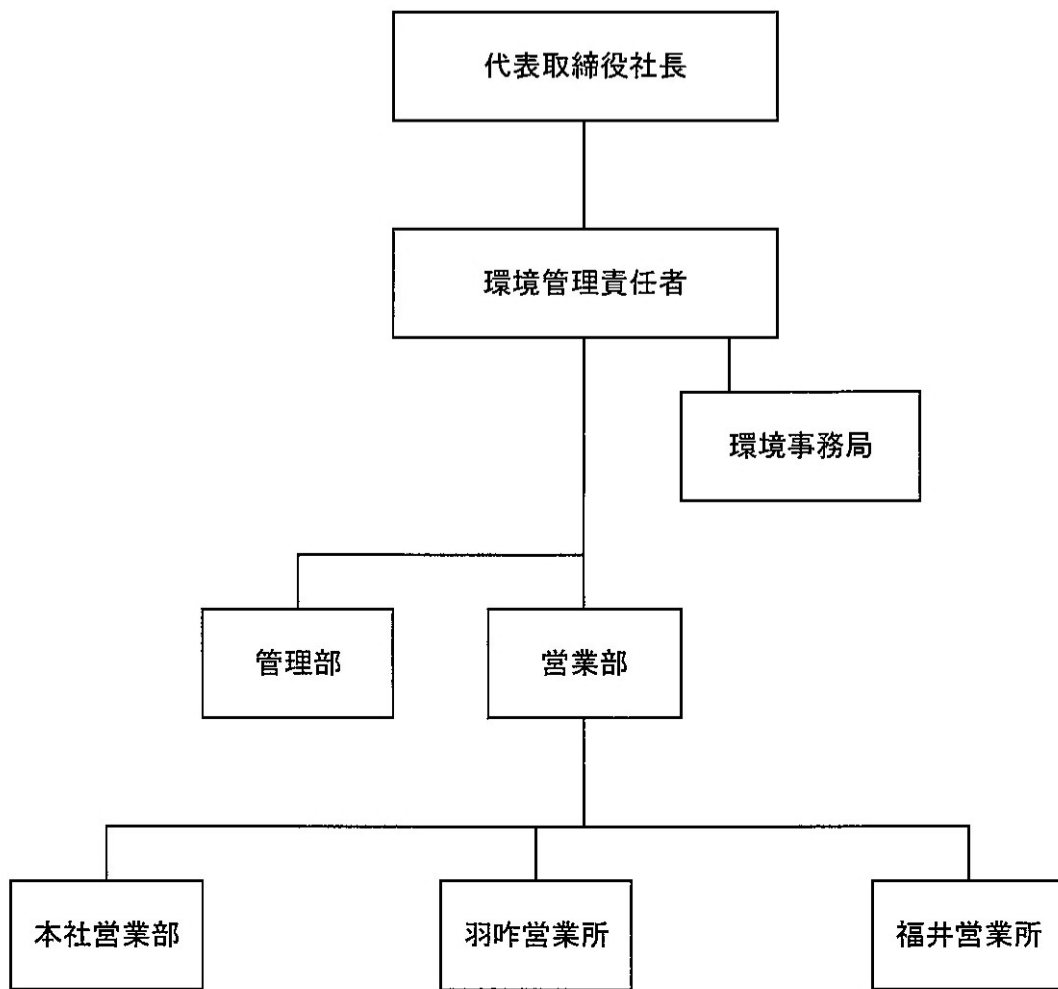
制定日：2022年11月14日

中部工営株式会社

代表取締役社長

川畑 邦文

環境経営システム組織図



責任者	役割・責任・権限
代表取締役社長	環境経営に関する統括責任 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 環境経営活動実施計画の実績集計 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
所属長	自部署における環境経営方針の周知 自部署の従業員に対する教育訓練の実施
全従業員	環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 EA21について決められたことを守り、自主的積極的に環境経営活動へ参加

環境負荷の実績

分類	項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
			実績	実績	実績	実績
二酸化炭素 排出量	ガソリン使用量	ℓ	13,902	13,490	13,714	12,932
	電気使用量	kWh	28,691	27,042	25,977	27,915
	灯油使用量	ℓ	144	163	126	126
	LPG使用量	m ³	6.4	5.2	4.3	3.4
		kg-CO ₂	49,120	47,257	47,068	46,360
水使用量	水使用量	m ³	126	170	153	141
廃棄物排出量	可燃物排出量	kg	674	655	584	639
	不燃物排出量	kg	19	22	37	41

中期環境目標

分類	項目	単位	2024年度	2026年度	2027年度	2028年度
			基準値	目標	目標	目標
二酸化炭素 排出量	ガソリン使用量	ℓ	13,714	13,577	13,577	13,577
		%	基準値比	99%	99%	99%
	電気使用量	kWh	25,977	25,717	25,717	25,717
		%	基準値比	99%	99%	99%
	灯油使用量	ℓ	126	125	125	125
		%	基準値比	99%	99%	99%
LPG使用量	m ³	4.3	4.3	4.3	4.3	
	%	基準値比	99%	99%	99%	
		kg-CO ₂	47,068	46,613	46,613	46,613
		%	基準値比	99%	99%	99%
水使用量	水使用量	m ³	153	151	151	151
		%	基準値比	99%	99%	99%
廃棄物排出量	可燃物排出量	kg	584	578	578	578
		%	基準値比	99%	99%	99%
	不燃物排出量	kg	37	37	37	37
		%	基準値比	99%	99%	99%
リサイクルの 推進	ダンボール・新聞紙 カタログ等(比率)	%	—	48%	48%	48%
環境関連製品の 提案	提案件数	件	—	60	60	60

※化学物質は使用していません。

※二酸化炭素排出係数(Kg-CO₂/kWh) 北陸電力 0.574

環境経営計画の取組み結果

事業活動	環境負荷の把握	環境への取組	評価
二酸化炭素排出量の削減	営業車輛等の 運転による 化石燃料使用	ガソリン 二酸化炭素の排出抑制 ・アイドリングストップ(駐車時のエンジン停止) ・急発進、急加速、急停車の禁止 ・無駄な積載貨物の確認及び過積載の禁止 ・速度はできるだけ一定速度で走る ・エアコンは極力控える ・タイヤの空気圧をこまめに点検する ・走行距離を記録し燃費を割り出す ・社用車の低燃費車への切替え	○
	事務所の 化石燃料使用 ・冷暖房 ・パソコン ・照明 ・湯沸し ・冷蔵庫 ・電子レンジ ・テレビ	購入電力 灯油 LPG 二酸化炭素の排出抑制 ・室内空調の適正設定温度厳守[暖房21～23℃ 冷房25～28℃] ・昼食時及び不使用エリアの消灯 ・使用していない部屋の空調停止 ・パソコン、コピー機等の省電力設定 ・ブラインドカーテン利用による熱調節 ・冬期のウォームビズ 夏期のクールビズ ・蛍光灯等から省エネルギー型照明器具への切替え	△
廃棄物排出量の削減	事務所からの 廃棄物発生	可燃物 紙類の効率的な使用 ・両面印刷、両面コピーの推進 ・裏紙利用の徹底(裏紙が活用できる紙すべて対象) ・ミスコピー防止のため使用後は設定をリセットする ・社内文書の印刷低減化の推進 ・社内会議のプロジェクター利用 ・ダンボール、カタログ、新聞のリサイクル徹底 ・使用済み封筒の再利用	×
		不燃物 一般廃棄物(紙以外)の排出抑制 ・ゴミ分別の徹底 ・使い捨て製品(紙コップ、弁当容器等)の使用や購入を抑制する ・リサイクルし易い製品を優先的に購入する ・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等を長期使用する	×
水使用量の削減	事務所での 水の消費	上水道 地下水 節水、水の効率的な利用 ・節水活動の啓蒙 ・台所、手洗いの蛇口は開き過ぎない ・水を出しっ放しにしない ・トイレの水洗は大小のレバーを使い分ける	○
その他推進	リサイクルの 推進	・新聞 ・ダンボール ・カタログ ・リサイクルし易い製品を優先的に購入する ・詰め替え可能な製品を優先利用する ・備品の修理等により、製品等を長期使用する ・ゴミ分別の徹底	×
	環境関連製品の 提案	遮熱断熱塗料 太陽光蓄電池 EV用充電器 LED照明 空気清浄機 他 ・環境関連製品の企画・提案をする ・省エネタイプの装置等の企画・提案をする	○

取組評価 ○:良い △:やや良い ×:悪い

目標・実績・評価と取組み評価

分類	項目	単位	2025年度（上段:目標 下段:実績）					評価
			9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月	合計	
自動車燃料	ガソリン使用量	ℓ	3,264	3,186	3,633	3,494	13,577	○
			3,358	3,556	3,181	2,837	12,932	
電力	電気使用量	kWh	4,993	8,855	6,477	5,394	25,719	×
			5,405	10,132	6,791	5,587	27,915	
冷暖房	灯油使用量	ℓ	0	125	0	0	125	×
			0	126	0	0	126	
	LPG使用量	m ³	0.0	1.8	2.5	0.0	4.3	○
			0.0	1.4	2.0	0.0	3.4	
二酸化炭素排出量		kg-CO2	10,441	12,800	12,167	11,205	46,613	○
			10,893	14,389	11,291	9,787	46,360	
水使用量	水使用量	m ³	48	22	40	41	151	○
			39	29	34	39	141	
廃棄物排出量	可燃物排出量	kg	143	166	137	132	578	×
			138	172	134	195	639	
	不燃物排出量	kg	7	9	14	7	37	×
			9	11	10	11	41	
その他推進	リサイクルの推進	%	48%	48%	48%	48%	48%	×
			34%	30%	43%	27%	33%	
	環境関連製品の提案	件	15	15	15	15	60	○
			15	13	17	17	62	

※化学物質は使用していません。

※二酸化炭素排出係数(Kg-CO2/kwh) 北陸電力 0.574

★二酸化炭素排出量

クールビズ、ウォームビズの実施

冬の暖房、夏の冷房の使用に注意を払う。

エコドライブを推進する。

★水使用量

流し台、トイレ、掃除等で節水に努めた。

感染症対策で、うがい手洗いを励行した。

★廃棄物排出量

ペーパーレス化、裏紙の利用等に努めた。

使用物品等は、可能な限り再利用、リサイクルできるものを購入するようにする。

★リサイクルの推進

ゴミの分別を徹底し、リサイクル比率を更に高めていきたい。

★環境関連製品の提案

お客様のニーズを見極め、積極的に提案していきたい。

また、提案だけに終わらず受注に結びつけられるよう努力していく。

次年度の環境経営計画

事業活動		環境負荷の把握	環境への取組
二酸化炭素排出量の削減	営業車輛等の運転による化石燃料使用	ガソリン	二酸化炭素の排出抑制 ・アイドリングストップ(駐車時のエンジン停止) ・急発進、急加速、急停車の禁止 ・無駄な積載貨物の確認及び過積載の禁止 ・速度はできるだけ一定速度で走る ・エアコンは極力控える ・タイヤの空気圧をこまめに点検する ・走行距離を記録し燃費を割り出す ・社用車の低燃費車への切替え
	事務所の化石燃料使用 ・冷暖房 ・パソコン ・照明 ・湯沸し ・冷蔵庫 ・電子レンジ ・テレビ	購入電力 灯油 LPG	二酸化炭素の排出抑制 ・室内空調の適正設定温度厳守[暖房21～23℃ 冷房25～28℃] ・昼食時及び不使用エリアの消灯 ・使用していない部屋の空調停止 ・パソコン、コピー機等の省電力設定 ・ブラインドカーテン利用による熱調節 ・冬期のウォームビズ 夏期のクールビズ ・蛍光灯等から省エネルギー型照明器具への切替え
廃棄物排出量の削減	事務所からの廃棄物発生	可燃物	紙類の効率的な使用 ・両面印刷、両面コピーの推進 ・裏紙利用の徹底(裏紙が活用できる紙すべて対象) ・ミスコピー防止のため使用後は設定をリセットする ・社内文書の印刷低減化の推進 ・社内会議のプロジェクター利用 ・ダンボール、カタログ、新聞のリサイクル徹底 ・使用済み封筒の再利用
		不燃物	一般廃棄物(紙以外)の排出抑制 ・ゴミ分別の徹底 ・使い捨て製品(紙コップ、弁当容器等)の使用や購入を抑制する ・リサイクルし易い製品を優先的に購入する ・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等を長期使用する
水使用量の削減	事務所での水の消費	上水道 地下水	節水、水の効率的な利用 ・節水活動の啓蒙 ・台所、手洗いの蛇口は開き過ぎない ・水を出しっ放しにしない ・トイレの水洗は大小のレバーを使い分ける
その他推進	リサイクルの推進	・新聞 ・ダンボール ・カタログ	・リサイクルし易い製品を優先的に購入する ・詰め替え可能な製品を優先利用する ・備品の修理等により、製品等を長期使用する ・ゴミ分別の徹底
	環境関連製品の提案	遮熱断熱塗料 太陽光蓄電池 EV用充電器 LED照明 空気清浄機 他	・環境関連製品の企画・提案をする ・省エネタイプの装置等の企画・提案をする

【代表者による全体の評価及び見直し】

全員参加による意識の向上が伺えるが、まだまだ改善できる部分も多く残しているため、引き続き意識を向上させ、目標達成に向けて取り組んでいく。環境問題やエネルギー問題で重要なテーマとなっている二酸化炭素排出削減に力を入れていきたい。

また、環境関連製品のPRも積極的に行っていきたい。

【環境関連法規の遵守状況】

当社に適用される主な法規制などの遵守状況

法規制などの名称	遵守状況
廃棄物処理法	該当事例無し
家電リサイクル法	該当事例無し
自動車リサイクル法	遵守
フロン排出抑制法	遵守

遵守状況の評価の結果、上記の通り遵守されておりました。

【違反・訴訟・苦情】

環境関連法規への違反はありません。

関係当局からの違反の指摘及び、第三者からの訴訟を受けたことは、過去3年間ありません。

外部からの違反の指摘及び、苦情を受けたことは、過去3年間ありません。